

アリス＝紗良・オット プロフィール

クラシック音楽界の中で最も独創的精神の持ち主のひとりであるアリス＝紗良・オットは、2023-24 シーズン、ロンドンのサウスバンク・センターとパリのラジオ・フランスにアーティスト・イン・レジデンスとして出演する。またブライス・デスナーがオットのために作曲した新しいピアノ協奏曲の世界初演を行い、独自のプロジェクト「エコーズ・オブ・ライフ」の大規模なアジア・ツアーを開始、さらに専属契約を結ぶドイツ・グラモフォンから2枚の新しいアルバムをリリースする。

2023-24 シーズン、オットはアントニオ・パッパーノ指揮ロンドン交響楽団、山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団とツアーを行う。初共演となるニューヨーク・フィルハーモニックとはカーナ・カネナキス指揮でラヴェルのト長調協奏曲を演奏する。またブライス・デスナーのピアノ協奏曲をケント・ナガノ指揮チュールピ・トーンハレ管弦楽団と初演し、その後ロンドンのフィルハーモニア管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、シンシナティ交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団ともこの曲を演奏する。

今シーズンリリースする2枚のアルバムには「ベートーヴェン」と「エコーズ・オブ・ライフ・デラックス」が含まれる。後者はオットの大成功作となったドイツ・グラモフォン10枚目の「エコーズ・オブ・ライフ」のフォローアップ・アルバムである。カーナ・カネナキスとオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団共演のベートーヴェン・プロジェクトは、アップル・ミュージックとのコラボレーションとして生まれ、アップル・ミュージック・クラシック・アプリが新しく立ち上げられた際にアルバムが独占的にリリースされたものである。オットはこのマルチ・プラットフォーム・ビデオ・キャンペーンにおいて世界的宣伝、主演、演奏の顔を務めた。

2023-24 シーズン、オットは「エコーズ・オブ・ライフ」で中国、香港、日本の大規模なアジア・ツアーを行う。「エコーズ・オブ・ライフ」は、ショパンの「24の前奏曲」を中心にリゲティ、ロータ、チリー・ゴンザレス、ペルト、トリストアーノの曲を織り込んだ、ライブの形での、建築家デミレルとの感動的で独創的なコラボレーションである。リサイタルに随伴するデジタル・ビデオ・インスタレーションは、聴衆をそれぞれの仮想の旅に連れ出し、独自のコンサート体験を作り出す役割を果たしている。

これまでにグスタボ・ドゥダメル、パブロ・エラス＝カサド、サントウ＝マティアス・ロウヴァリ、エドワード・ガードナー、パーヴォ・ヤルヴィ、アントニオ・パッパーノ、ジャンドレア・ノセダ、アンドレス・オロスコ＝エストラーダ、フランソワ・ルルー、ユーリ・テミルカーノフ、ロリン・マゼール、ウラディーミル・アシュケナージ、サカリ・オラモ、オスモ・ヴァンスカ、チョン・ミンファン、ロビン・ティチャーティを含む最高レベルの指揮者と共演している。オーケストラではベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ヨーテボリ交響楽団、カメラータ・ザルツブルク、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、ワシントン・ナショナル交響楽団、ウィーン交響楽団と継続的に共演している。

「ベートーヴェン」と「エコーズ・オブ・ライフ・デラックス」は、「ナイトフォール」、「ワンダーランド」、「ザ・ショパン・プロジェクト」といった発展性のあるアルバムの結果として生じたものであり、アルバムの総ストリーミング数は3億7千万回を超える。

オットは才能あるイラストレーター、デザイナーとしても、ドイツの有名高級ブランド「JOST Bags」のバッグラインへのデザインを提供している。アップル・ミュージックとのコラボレーションの他にも、パナソニックのHi-Fiオーディオブランド「Technics」のブランド・アンバサダーを務め、フランスのラグジュアリー宝飾店「Chaume（ショーム）」やドイツのラグジュアリー宝飾ブランド「Wempe（ヴェンペ）」とのコラボレーションも行っている。